

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
4／140	高2 2名		

			(知及技) 知識及び技能	体験的な学習を行うことにより、機織りの作業学習を理解するとともに関連する技術を身につけられるようにする。(高Ⅰ段階)			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	機織りの一連の作業を通して、職業としての久米島紬制作を理解する。(高Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	習った知識や技能を活用して、生活を改善しようとする態度を養う。(高Ⅰ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学 期	4月	12	(思判表力) 染色～製織までの工程を理解し、必要な道具や材料名を覚える。 (知及技) 集中して作業に取り組み、必要な場面で報告、連絡、相談ができる。	(思・判・表) 染色～製織までの工程を理解し、必要な道具や材料名を覚えている。 (知・技) 集中して作業に取り組み、必要な場面で報告、連絡、相談することができる。	・染色～よこ系管巻	・講師に教わりながら取り組む。 ・質問、報告、返事の仕方の確認。	美術、職業、家庭
	5月	13			・染色～よこ系管巻		
	6月	14			・染色～よこ系管巻		
	7月	12			・染色～よこ系管巻		
2 学 期	9月	14	(思判表力) 織りの過程を知り、必要な道具や材料の名称を覚えることができる。 (知及技) 集中して作業に取り組み、必要な場面で、報告、連絡、相談ができる。	(思・判・表) 織りの過程を知り、必要な道具や材料の名称を覚えている。 (知・技) 集中して作業に取り組み、必要な場面で、報告、連絡、相談することができる。	・製織	・講師に教わりながら取り組む。 ・質問、報告、返事の仕方の確認。	美術、職業、家庭
	10月	14			・製織		
	11月	14			・製織		
	12月	10			・製織		
3 学 期	1月	12	(思判表力) 仕上げに必要な工程や、道具の名前を知り使い方を身につけることができる。 (学・人) 作業手順を守り、集中して取り組むことができる。	(思・判・表) 仕上げに必要な工程や、道具の名前を知り使い方を身につけることができる。 (主学) 作業手順を守り、集中して取り組んでいる。	・製織	・講師に教わりながら取り組む。 ・質問、報告、返事の仕方の確認。	美術、職業、家庭
	2月	14			・製織		
	3月	11			・製織		
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
4／140	高3 2名		

			(知及技) 知識及び技能	体験的な学習を行うことにより、機織りの作業学習を理解するとともに関連する技術を身につけられるようにする。（高２段階）			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	機織りの一連の作業を通して、職業としての久米島紬制作を理解する。（高２段階）			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	習った知識や技能を活用して、生活を改善しようとする態度を養う。（高２段階）			
日	月	時数	単元・題材目標 （三つの柱）	単元・題材の評価規準 （三観点）	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学 期	4月	14	（思判表力）染色～製織までの工程を理解し、必要な道具や材料名を覚える。 （知及技）集中して作業に取り組み、必要な場面で報告、連絡、相談ができる。	（思・判・表）染色～製織までの工程を理解し、必要な道具や材料名を覚えている。 （知・技）集中して作業に取り組み、必要な場面で報告、連絡、相談することができる。	・染色～よこ系管巻	・講師に教わりながら取り組む。 ・質問、報告、返事の仕方の確認。	美術、職業、家庭
	5月	14			・染色～よこ系管巻		
	6月	15			・染色～よこ系管巻		
	7月	13			・染色～よこ系管巻		
2 学 期	9月	15	（思判表力）織りの過程を知り、必要な道具や材料の名称を覚えることができる。 （知及技）集中して作業に取り組み、必要な場面で、報告、連絡、相談ができる。	（思・判・表）織りの過程を知り、必要な道具や材料の名称を覚えている。 （知・技）集中して作業に取り組み、必要な場面で、報告、連絡、相談することができる。	・製織	・講師に教わりながら取り組む。 ・質問、報告、返事の仕方の確認。	美術、職業、家庭
	10月	15			・製織		
	11月	15			・製織		
	12月	11			・製織		
3 学 期	1月	13	（思判表力）仕上げに必要な工程や、道具の名前を知り使い方を身につけることができる。 （学・人）作業手順を守り、集中して取り組むことができる。	（思・判・表）仕上げに必要な工程や、道具の名前を知り使い方を身につけることができる。 （主学）作業手順を守り、集中して取り組んでいる。	・製織	・講師に教わりながら取り組む。 ・質問、報告、返事の仕方の確認。	美術、職業、家庭
	2月	15			・製織		
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度				